

2020年7月15日

学校法人三幸学園  
大宮ビューティーアンドブライダル専門学校  
校長 増田 泰朗 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 川合 竜也

### 学校関係者評価委員会実施報告

2019年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員

- ① 川合 竜也 (株式会社 ガモウ 埼玉支店支店長)
- ② 峯岸 風佳 (美容科第1期卒業生)
- ③ 紺田 雄一郎 (株式会社ユニックス人事担当主任)
- ④ 仁田 隼人 (株式会社大宮リタ ゼネラルマネージャー)

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2020年7月15日 オンライン会議システムにて実施

##### 3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2019年度 学校法人 三幸学園 大宮ビューティーアンドブライダル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 小倉 裕子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 川合 竜也

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

#### 【2019年度に定めた課題事項】

- ・主体性を育む教務の徹底
- ・基礎指導の徹底(あいさつ・返事・言葉づかい・時間管理・体調管理・笑顔・清掃)
- ・技術の向上(検定合格率など)
- ・退学率減少
- ・教職員の労務体制改善の強化

上記の課題解決に向け、対策を検討し実施した結果、検定合格率においては前年度より改善された。今後も専門的な知識やスキルの獲得の為にも、検定合格率の向上を目指し、各検定事に目標値を定め合格率向上を目指していく。

しかし、生徒の社会人としての基本(あいさつ・返事・言葉づかい・時間管理・体調管理・笑顔・清掃)については、いまだ不十分な為今後も強化していく必要があると感じている。

退学率は前年度より微増となり、まだまだ対策が必要な状況である。2年間を通じ一貫した教育を提供することで、生徒がゴールを想像しながら成長していけるよう取り組んでいく。

また、教職員の労務体制改善の強化では勤怠管理の徹底や業務改善を図り効率化を目指していく必要がある。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

#### 【仁田委員】(美容科について)

基礎指導について、メンタルを鍛えることは極めて重要。

立ち振る舞いや言動、メンタルを鍛え、社会に通用できるよう指導をする必要がある。

#### 【峯岸委員】(美容科について)

実技に疲れを感じ、退学する生徒が多い。基礎を反復する授業が続くため、マンネリ化する。

#### 【紺田委員】(トータルビューティー科について)

オンオフの切り替えができていないことや、指示に対して無反応な学生もいるので、今から社会人としての基礎指導が必要。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

・教育理念、目指す人物像共に教職員・生徒・保護者への浸透が十分とは言えないため、さらに発信していく必要がある。

・担任より保護者様への連絡を定期的に行いご理解いただきながら運営を行っていく必要性がある。

#### ② 今後の改善方策

・WEB、オープンキャンパスでの告知、校内掲示、ホームルームや行事等を通じて発信を行う。

また年度末年度始めの会議だけでの説明ではなく、定期的に行っている担任会議やクラス会議、教科会議等でも学校の理念・目的・育成人材像について浸透するための時間を設ける。

#### ③ 特記事項

特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

【仁田委員】(美容科について)

目の前の課題の取り組み、楽しく取り組むための工夫を自ら考えて行うことが大切。

【峯岸委員】(美容科について)

授業時に配布されるプリントに、学校の理念がたびたび記載されており、目にしていた。

【川合】委員】(トータルビューティー科について)

成功の積み重ねを評価してもらうことで、理念を理解できる。

【紺田委員】(トータルビューティー科について)

理念は押しつけではなく、「軸」として考えてもらう。

#### (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3

教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・教職員の労務管理
- ・教育の情報公開が少ない

② 今後の改善方策

- ・コンプライアンス遵守体制の確保
- ・労務管理体制の徹底
- ・ポータルサイトを活用した情報共有を行う

③ 特記事項

昨年度より単位制を導入している事・シラバスを HP 上でも開示し各教室にも保管していることによる、授業内容の統一や質の担保を強化している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

【仁田委員】(美容業界について)

現場では、自由参加型の研修を実施。美容師は技術職なので、就職後も練習は必須。

【紺田委員】(美容業界について)

残業が課題。緊急事態宣言があり休業していた分、6月から多忙が続くが、残業手当を支給している。

(3)教育活動

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3

関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・授業評価についてアンケートを実施し体制としては整っているが、それに対するフィードバックや改善が行われているか等の確認や質の向上の把握は必要
- ・教職員に対して先端的な知識、技能等の研修を行っているが、業界によっては追加で行う必要性がある。

② 今後の改善方策

- ・各種研修への参加や資格・検定の取得を積極的に促す
- ・関連分野の企業より、カリキュラムに対しての意見を頂く。また、特別授業の実施を行って頂く。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【仁田委員】(美容科について)

美容師は離職率が高いため、就職意識のマインドアップが必要。各々の意識向上を図るべき。自己分析を行った上で、仕事を選ぶ必要がある。

【仁田委員】(美容科について)

教員の美容知識に偏りがあるのではないかと。知識量の統一化をはかるべきである。

【峯岸委員】(美容科について)

就職先に対応できるよう、在学中に様々な知識を学びたかった。

【紺田委員】(トータルビューティー科について)

多様な生徒が多いが、1つの分野のプロフェッショナルになってほしい。目標を自分で見つけてほしい。

(4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

- ・卒業後のキャリア支援について組織的な取り組みが必要。
- ・卒業生が卒業後どのように活躍しているのかということの把握が不十分
- ・退学率が高い

## ② 今後の改善方策

- ・Sanko リンクの周知徹底
- ・就職先企業との成長フローの共有
- ・教務力向上の為の仕組みづくりを検討

## ③ 特記事項

特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

【川合委員】(美容科について)

美容業界と学校側の接点・繋がり強化を図りたい。今は難しいが、顔を合わせる機会を設けたい。  
美容業界のオーナーに、学校の取り組みを伝えるべき。

【紺田委員】(トータルビューティー科について)

卒業生に在学中の学校生活の様子を伺うと「楽しかった」という意見が多く、指導がしっかりされている印象。

## (5) 学生支援

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

## ① 課題

- ・中途退学者、再就職支援への体制は要望があれば行っているが、連絡待ちの状態
- ・保護者様の連絡は適時行っているが学校の考え方やスタンスにご理解をいただけない方も多くおり、接触を細めに取り保護者との信頼関係の構築に努めている。

## ② 今後の改善方策

- ・中途退学者、再就職支援は今後、Sanko リンク等を活用し再就職支援を実施していきたい。
- ・保護者様との連携を適時行っているが学校の考え方やスタンスにご理解をいただけない方も多くおり、コンタクトを細めにとって、保護者様との信頼関係の構築に努める。
- ・保護者様に行事の見学ができるような仕組みを作り、行事を通して成長している姿を見て頂くことで学校の方針を理解して頂く。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【仁田委員】(学校全体について)

Sanko リンクの良さを生徒はまだ把握していないので、活用方法やメリットの周知徹底が必須。  
様々な情報を投稿し、活用度アップを図るべき。

【川井委員】(トータルビューティー科について)

求人が欲しいという相談が多いので、企業と学生の接点を持たせたい。

(6)教育環境

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・設備は新しく目立った問題点はない
- ・防災に関するマニュアルの作成や避難場所の確認はできているが、定期的な訓練までは実施できていない
- ・通信環境が万全ではない

② 今後の改善方策

- ・維持していくための保守点検管理
- ・学期初めのタイミングを使い、教員、生徒ともに避難訓練の機会を設ける
- ・通信環境の整備

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

【仁田委員】(学校全体について)

映像授業等が増え、実際に教員側も通信環境が整っていないと授業が行いにくいので、整備をお願いしたい。

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

・募集活動は適正に行い、資格取得率、就職率等、パンフレットで伝えているため、課題は特にないと  
考えている。

### ② 今後の改善方策

・特になし

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし



## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

### ④学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

・更なる法令遵守を徹底していく

### ② 今後の改善方策

・継続的实施

・問題点の明確な洗い出しと迅速な改善策の実践

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

・地域貢献・社会貢献に関する活動を積極的に行っているが地域社会に浸透していない

### ② 今後の改善方策

・地域住民をお招きしてのサロン開催日を増やす

・学生に学び、成長のあるボランティア活動の増加

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

【仁田委員】(共通内容)

訪問美容の資格が取得できると、企業側としてもありがたい。

【紺田】(共通内容)

現場からも地域貢献として訪問美容の提案があり、貢献できているという実感ができる。

#### (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

##### ① 課題

- ・美容科、ヘアメイク科は業界として就労ビザがおりない。
- ・トータルビューティー科は就労ビザが取りにくい

##### ② 今後の改善方策

- ・留学生に日本での就職が難しいことを説明した上で、それでも学びたい場合受け入れていく

##### ③ 特記事項

- ・特になし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

委員の皆さまと積極的な意見交換を行い、自己評価に関してはほぼ問題がないとの認識で一致した。特に卒業生や社会人への支援体制や社会・地域貢献に関する意見を数多くいただいたので、いただいた意見をもとに、更なる教育の質向上、施設の改善に努め学校運営を行っていきたい。

また 2020 年度も引き続き、以下の点について重点的に取り組んでいく。

- ・学園のミッション・ビジョンの実現と美容分野のビジョンや教育理念・目指す人材育成像の実現に向けた取り組みを行い、多くの方に理解・浸透を図る。
- ・学生の主体性を育む教務の徹底(心の教育強化)
- ・基礎指導の徹底(あいさつ・返事・言葉づかい・時間管理・体調管理・笑顔・清掃)
- ・技術力の向上(検定合格率の向上)
- ・退学率減少
- ・教職員の労務体制改善の強化